



もも組だより 2月号

平成30年2月20日 ことり保育園 担当:団野



暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続いています。
先日は、保育参観にご出席いただき、ありがとうございます。ひな飾りの製作に、真剣に取り組む姿に、成長を感じられたことと思います。

さて、節分以来、会話の中に、“鬼”がよく登場するようになりました。
「鬼のパンツ」の体操も、みんなで歌いながら楽しんでいます。
散歩をしたとき、用水路の中に、ゴミがあるのを見つけた子が、「捨てちゃだめだよね。鬼かな...。」と、呟いていました。鬼は恐くて、少し悪者のイメージかもしれませんが、それだけに、気になる存在のようです。

また、ある日のこと、教人で、ブロックを“ぬり藁”に見立てて遊んでいました。そのとき、偶然、近くでお友だちがつまずいて転んだのです。すると、手に手にブロック(ぬり藁)を握った子が駆け寄って、「ここ痛い?」などと聞きながら、あちこち優しく手当てを始めました。転んだ子は、最初は驚いていましたが、すぐに面白くなったようで、「大丈夫。」と言って立ち上がり、“ぬり藁チーム”に加わっていました。

日々の経験から、思いをことばにしたり、遊びに取り入れたりする子ども達に、頼もしさを感じます。間近に迫ったおゆうぎ発表会でも、どんな姿を見せてくれるか楽しみです。

